

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 12 月 6 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/6 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力 <sup>*1</sup>	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約2.0 m <sup>3</sup> /h	26.1	105.1 kPa abs	A系: 0.00 vol %
		給水系:約2.4 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.01 vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約4.2 m <sup>3</sup> /h	38.9	6.53 kPa g	A系 <sup>*2</sup> : - vol %
		給水系:約2.0 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.05 vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約4.0 m <sup>3</sup> /h	39.2	0.25 kPa g	A系 <sup>*2</sup> : - vol %
		給水系:約2.0 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.19 vol %

\*1 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

\*2 電源停止作業に伴いデータ欠測

【1号機】・12/6 11:12 11/2に発生した所内共通メタクラ1A～2Aの連系線ケーブル損傷の復旧作業としてケーブル接続作業を行うため、所内共通メタクラ1Aを停止することから、原子炉格納容器内への窒素ガス封入を停止。同日 11:39、窒素ガス封入を再開。なお、当該時間帯において原子炉压力容器内への窒素ガス封入は停止していない。

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/6 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	16.0
2号機	循環冷却システム	停止中	16.7
3号機	循環冷却システム	運転中	13.7
4号機	循環冷却システム	運転中	24

\*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

【2号機】・12/5 14:23 使用済燃料プール代替冷却システムにおいて、所内共通メタクラ1A～2Aの連系線ケーブル損傷の復旧作業としてケーブル接続作業を行うため、所内共通メタクラ1Aを停止する(停止期間は12/6 から 12/7 までを予定)ことから、事前に同システムを停止(停止時プール水温度:14.5℃)。使用済み燃料プール水温度の上昇率は約0.211℃/hと評価しており、運転上の制限値65℃に対して余裕があり、使用済燃料プール水温管理上問題はない。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	12/4 10:10 ~ 12/6 8:14 移送実施

・港湾内の物揚場に保留しているメガフロートについて、今後、港湾内での工事や資機材搬入のために輸送船等を着岸させる必要があることから、港湾内北側に移設する予定。移設にあたり、メガフロートには、5・6号機タービン建屋の溜まり水を貯留しており、低濃度の放射性物質が含まれていることから、海への放射性物質漏えいリスク低減のため 11/22 10:10より11:59まで、メガフロートから5・6号機周辺仮設タンク等への溜まり水の移送を実施。なお、移送については、概ね1ヶ月程度を予定。

#### <4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (12/6 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	運転中	停止中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・12/4 8:42 第二セシウム吸着装置(サリー)の信頼性向上を目的として、滞留水処理の移送ラインにおけるバックアップラインのうちの耐圧ホースを使用している範囲のポリエチレン管への取り替え工事に伴い、同装置を停止。なお、同装置の停止に伴い、同日 10:34、セシウム吸着装置を起動し、同日 10:38、定常流量に到達。

#### <5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5、6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H24/12/6 8:31 流量低下が見られていた5号機残留熱除去系海水ポンプ(C)の点検手入作業が終了し、同ポンプを系統に接続するには一時的に残留熱除去系海水ポンプを全て停止する必要があることから、残留熱除去系(A)を停止(停止時炉水温度 32.7℃)。その後、同日 11:48 に残留熱除去系(A)を起動(起動時炉水温度 34.4℃)。起動時の炉水温度は運転上の制限値 100℃に対して余裕があり、原子炉水温度の管理上問題ない。
- ・H24/12/6 3号機原子炉格納容器ガス管理システムのチャコールフィルタ・粒子状フィルタのサンプリングを実施。
- ・H24/12/6 3号機原子炉建屋上部において、ダストサンプリングを実施。

以上